

経営比較分析表（令和3年度決算）

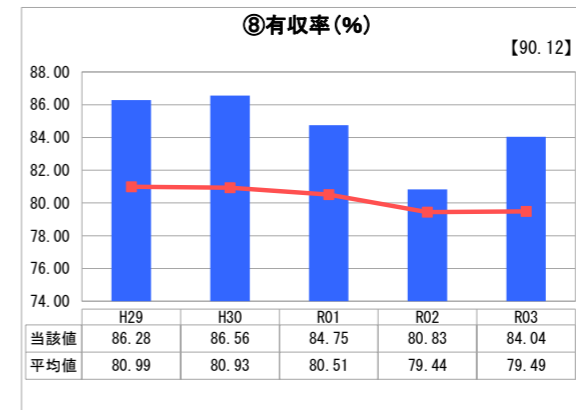
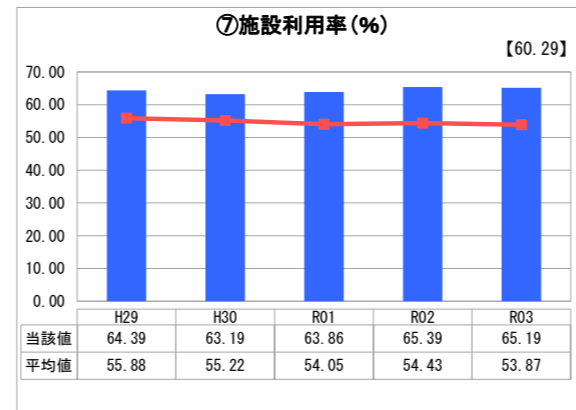
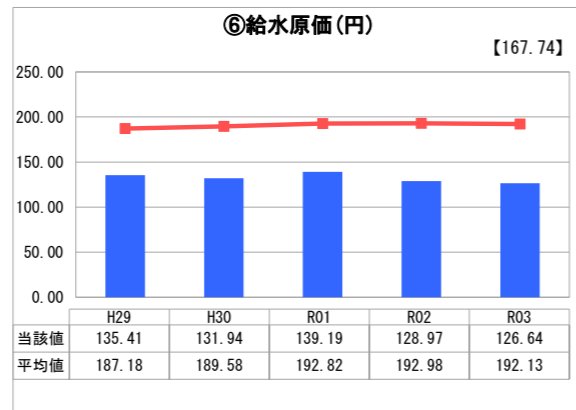
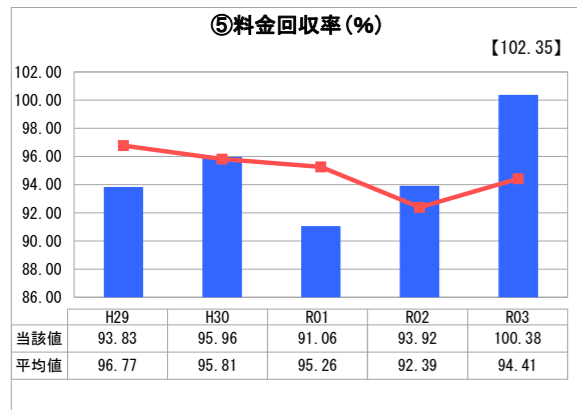
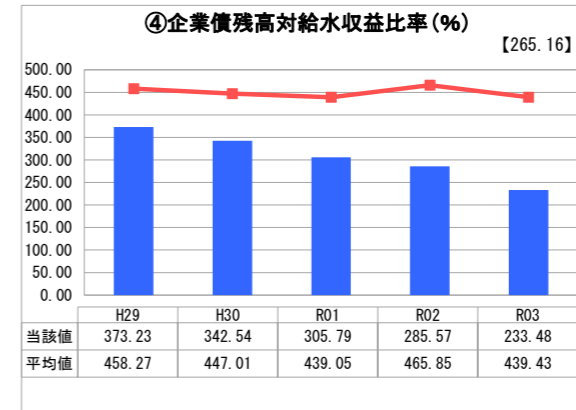
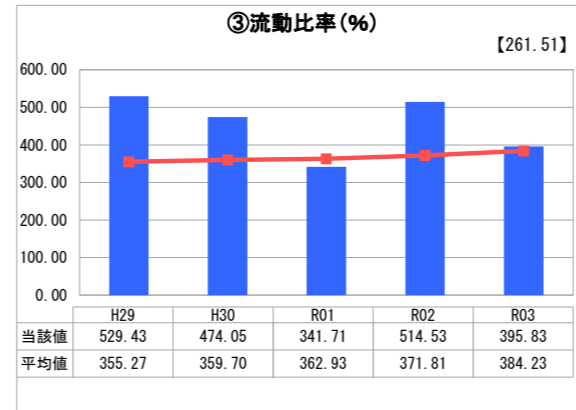
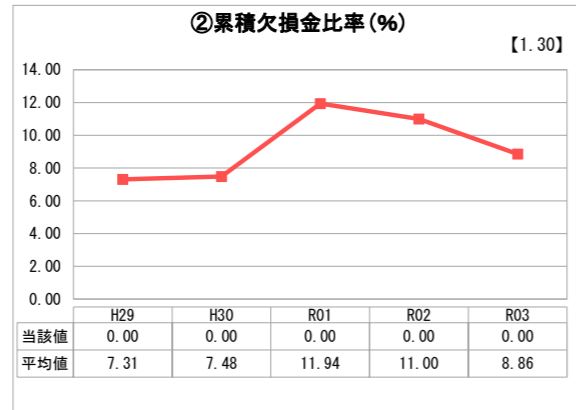
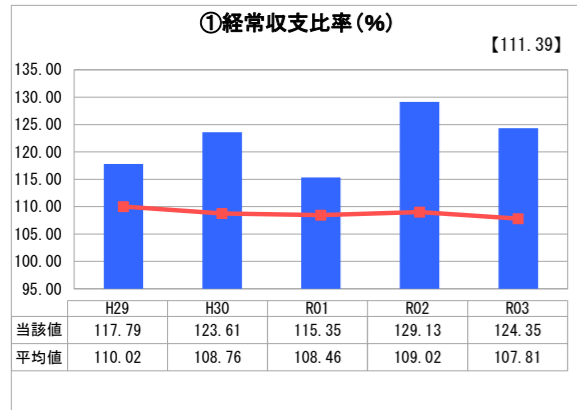
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.38	99.60	2,266	

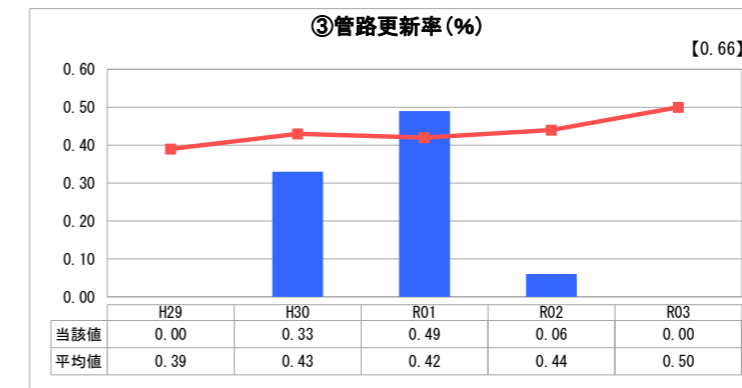
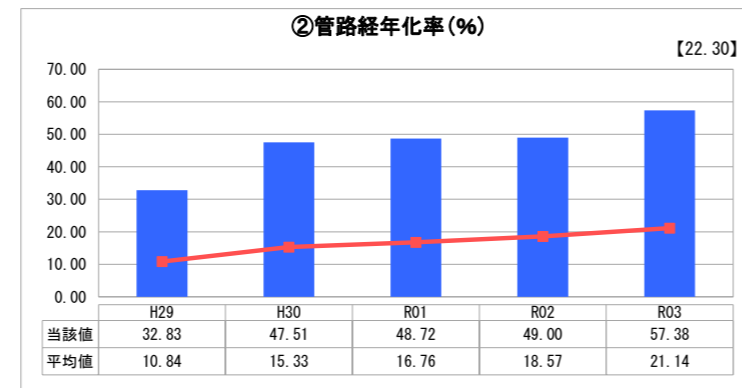
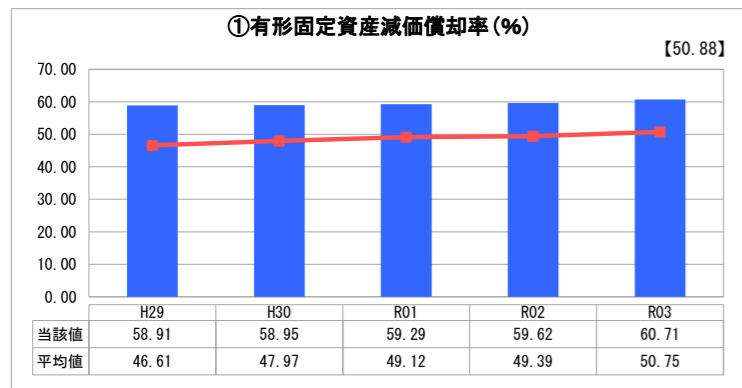
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,994	33.41	329.06
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,922	32.84	332.58

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
【	令和3年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%を超え黒字であるが、加入金の減少により、経常収支比率は減少した。しかし、一般会計繰入金により補填している状況のため、令和3年度に料金の見直しを行った。これにより、令和4年10月から料金を改定し、今後総収益に占める料金の割合を改善していく。

② 流動比率
工場の未払金を計上したため、前年度に比べ減少している。工場の財源を確保し、計画的に工事を実施する必要がある。

③ 企業債残高対給水収益比率
新規の企業債の借入れ以上に償還が進んでいるため、前年度に比べ減少している。今後老朽化した施設への投資の増加が見込まれるため、計画的な企業債の借入れを実施する必要がある。

④ 料金回収率
主要な法人の水需要が増加したため、前年度に比べ増加している。これにより、料金回収率は100%を超過したが、依然として一般会計繰入金を補填している状況のため、料金の見直しを行った。

⑤ 給水原価
主要な法人の水需要が増加したため、前年度に比べ減少している。今後も効率的な更新や維持管理費の削減を実施する必要がある。

⑥ 施設利用率
施設の利用状況や規模が適正のため、類似団体平均値を上回っている。給水人口がやや減少傾向にあるため、施設の縮小化を検討する必要がある。

⑦ 有収率
前年度に比べ増加したが、漏水が多発している。漏水調査や計画的な更新工事を実施する必要がある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
財源と人員の不足によって施設や管路の更新が遅れ、法定耐用年数に近い資産が増えているため、類似団体平均値を上回っている。現在美里町水道ビジョンを見直ししており、計画に沿った施設及び管路の早期更新を実施する必要がある。

② 管路経年劣化率
財源と人員の不足によって管路の更新が遅れ、法定耐用年数を経過した管路が増えているため、前年度に比べ増加している。美里町水道ビジョンに沿った管路の早期更新を実施する必要がある。

③ 管路更新率
更新工事について、関連する道路工事や下水道工事の遅延により、次年度に繰越したことによる。美里町水道ビジョンに沿った管路の早期更新を実施する必要がある。

全体総括

経営の健全性・効率性については、類似団体平均値と比較して良い結果となった。経常収支比率や料金回収率が100%を超過したものの、依然として一般会計からの繰入金に依存している。このため、収支のバランスを考慮しつつ、給水収益のみで水道事業の経営を行えるように令和3年度に料金の見直しを行った。これにより、令和4年10月から料金を改定した。

老朽化の状況については、類似団体平均値と比較して悪い結果となった。有形固定資産減価償却率が高く、管路経年劣化率と管路更新率が低いことから、施設や管路の老朽化が進行していることがわかる。今後の施設や管路の更なる老朽化に備えて、財源を確保し、美里町水道ビジョンに沿った施設及び管路の早期更新を実施する必要がある。